

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	WAFLU200 再生フィルタ用油
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	BMC S.r.l.
住所	Via Roslè 40059 Medicina (BO) Italia
担当者 (作成者) (メールアドレス)	info@bmcairfilters.com
電話番号 F	+39 051/6971511
A X 番号	-
緊急連絡電話番号	-
	会社の電話番号: BMC S.r.l.: tel. +39 051/6971511 月~金9.00-13.00 / 14.00-18.00 (技術支援のみ) 緊急情報については、最寄りの毒物センターに連絡してください
製品コード	
推奨用途及び使用上の制限	WAFLU200
推奨用途	再生フィルタ用油 (業務用途).
整理番号	CSSS-TCO-010-154504



## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類	エアゾール	区分1
物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。	
環境に対する有害性		

### GHS ラベル要素絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	極めて可燃性の高いエアゾール。 高压容器 熱すると破裂のおそれ。
注意書き	
安全対策	熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。 禁煙。 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め, 穴を開けたり燃やしたりしないこと。
応急措置	取り扱った後、手を洗うこと。
保管	日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。
廃棄	廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。
GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性	知見なし。
その他の情報	なし。

### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。
非常事態の概要	内容物は加圧下に置く。 熱により容器が爆発することがある。 混合物

## 3. 組成及び成分情報

### 化学物質・混合物の区別

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
蒸留物 (石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油	64742-65-0	(9)-1702	(9)-1702	≥40- <42.5%

化学式 UVCB (Unkown, Variable, Complex, Biological) (変動組成の化学物質, 複雑な反応生成物及び生物産生物質) (64742-65-0)

#### 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

に入った場合 水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。誤嚥した場合は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。症状にあった治療を施す。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 。

使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 データなし。

特有の消火方法 内容物は加圧下に置く。与圧容器は熱や炎に暴露すると爆発する恐れがあります。火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。蒸気圧の上昇を回避するため容器を水で冷却しなければならない。貨物保管区域の大規模な火災に対してはできれば無人のホース保持機または遠隔操作ノズルを使用する。もしそれができなければ避難して火が燃え尽きるまで待機する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消防士は、防火衣、フェースシールド付きヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣を着用しなくてはならない。密閉された場所では、自給式呼吸器 (SCBA) も使用する。

一般的な火災の危険性 極めて可燃性の高いエアゾール。

特定の消火方法 通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

環境に対する注意事項 下水や水路、地面への排出を避ける。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

より詳細な情報は、SDS（製品安全データシート）を参照下さい。危険でなければ、漏れを止める。漏洩を修復不可能な場合はシリンダーを安全で開放された場所に移す。全ての着火源（近くにあるタバコ、炎、火花、火）を除去する。可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

大量の漏出：可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。使用済みの吸収剤は、ドラムやその他の適切な容器にすくい入れる。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

容器を切削、溶接、はんだ付け、穴開け、研削したり、あるいは熱、炎、火花やその他の発火源に暴露してはならない。製品を取り扱う時に使用するすべての道具は、接地しておく必要がある。換気のよい場所でのみ取り扱う。

安全取扱注意事項

裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。加圧容器：使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。スプレーボタンが失われていたり不良品の場合には使用してはならない。火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。スプレーの使用またはスプレーした表面が完全に乾燥するまでは禁煙。

本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

詳細については、本SDSの項目10を参照。

接触回避  
衛生対策

取扱中は禁煙。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

### 保管

安全な保管条件

高圧ガスタンク。日光を避けまた50°C / 122華氏温度を上回る温度下に暴露しないようにして下さい。穿孔、焼却、圧潰してはならない。本物質は静電荷を蓄積し、火花を発生し着火源となる恐れがある。一般的な接続及び接地技術を使って、静電荷の蓄積を防止する。熱、火花、裸火から離して保管する。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

元の容器に密閉して保管する。標準

安全な容器包装材料

## 8. ばく露防止及び保護措置

監視手順に従ってください。

許容濃度等

暴露限界値

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
蒸留物(石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油 (CAS 64742-65-0)	TWA	3 mg/m3	ミスト。

米国. ACGIH 限界値

成分	タイプ	数値	形状
蒸留物(石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油 (CAS 64742-65-0)	TWA	5 mg/m3	吸入性画分

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。

## 保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状

色臭

い

融点 / 凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲可

燃性

液体。

エアゾール

赤

データなし。

-187.6 - -138.3 °C (-305.68 -216.94 °F)

-164.5 °C (-264.1 °F)

該当しない。

### 爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

爆発限界 - 下限(%)

1.86 %

爆発限界 - 上限(%)引

15 %

火点

-104.0 - -60.0 °C (-155.2 - 76.0 °F)

自然発火点

287 - 537 °C (548.6 - 998.6 °F)

分解温度

データなし。

pH

データなし。

動粘性率

データなし。

溶解度

溶解度 (水)

不溶性

n-オクタノール / 水分分配係数  
(log 値)

データなし。

蒸気圧

データなし。

密度及び / 又は相対密度

密度

0.87 g/cm<sup>3</sup>

比重

データなし。

相対ガス密度

データなし。

粒子特性

データなし。

その他の情報

粘度 (粘性率)

46 cst(40°C )

## 10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。通常状態で安定。

化学的安定性

危険有害反応可能性避

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。引火点

けるべき条件

を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。酸化剤。強還

混触危険物質

元剤、強酸または強アルカリ、熱材料。

危険有害な分解生成物

炭素酸化物。

## 11. 有害性情報

急性毒性

成分	種	試験結果
蒸留物 (石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油 (CAS 64742-65-0)		
<b>急性吸入</b>		
LC50	ラット	> 5.53 mg/l/4h
<b>経口</b>		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
<b>経皮</b>		
LD50	ウサギ	> 5000 mg/kg

**皮膚腐食性 / 刺激性** 長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

**眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性**

**呼吸器感作性又は皮膚感作性**

**呼吸器感作性** 呼吸器感作性物質でない。

**皮膚感作性 生** この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

**殖細胞変異毒性** 本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

**発がん性**

**ACGIH発がん性物質**

蒸留物 (石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油 (CAS 64742-65-0) A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

**IARC発がん性評価モノグラフ**

蒸留物 (石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油 (CAS 64742-65-0) 3 ヒトへの発がん性を分類できない。

**生殖毒性** この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)** 区分に該当しない。

**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)** 区分に該当しない。

**誤えん有害性** 吸引性呼吸器有害性でない。

## 12. 環境影響情報

成分	種	試験結果
蒸留物 (石油), 溶媒-脱ロウ処理した高比重パラフィン系油 (CAS 64742-65-0)		
<b>水生急性</b>		
甲殻類	EC50	ミジンコ > 10000 mg/l, 48 h
魚類	LC50	魚類 > 100 mg/l, 96 h
<b>生態毒性</b>		
この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。		
<b>残留性・分解性</b>		
混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない <タグ>データなし		
<b>生体蓄積性</b>		
し		
<b>土壌中の移動性</b>		
この製品は水と混合せず、水の表面を拡散する。データなし		
<b>オゾン層への有害性</b>		
データなし		
<b>他の有害影響</b>		
その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは予想されない。		

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。
汚染容器及び包装地	。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。空の容器を再使用しない。
域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。内容物は加圧下に置く。穿孔、焼却、圧潰してはならない。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

### 14. 輸送上の注意

IATA	1950
UN number	Aerosols, flammable
UN proper shipping name	
Transport hazard class(es)	
Class Subsidiary risk	2.1
Packing group	-
Environmental hazards ERG Code	Not assigned.
Special precautions for user	No.
Other information	10L
Passenger and cargo aircraft	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Cargo aircraft only	
IMDG	
UN number	1950
UN proper shipping name	Aerosols, flammable
Transport hazard class(es)	
Class Subsidiary risk	2.1
Packing group	-
Environmental hazards Marine pollutant EmS	Not assigned.
Special precautions for user	No.
MARPOL73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	F-D, S-U
	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
	未確定。



国内規制  
応急措置指針番号

国内輸送については1.5章の規制に従うこと。126

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法特

定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律第一

種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則航

高压ガス

空法・施行規則 火薬

高压ガス

類取締法

該当せず。

## 16. その他の情報

### 引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure IndicesHSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 :2019 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

BMC S.r.l. は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シート情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。